

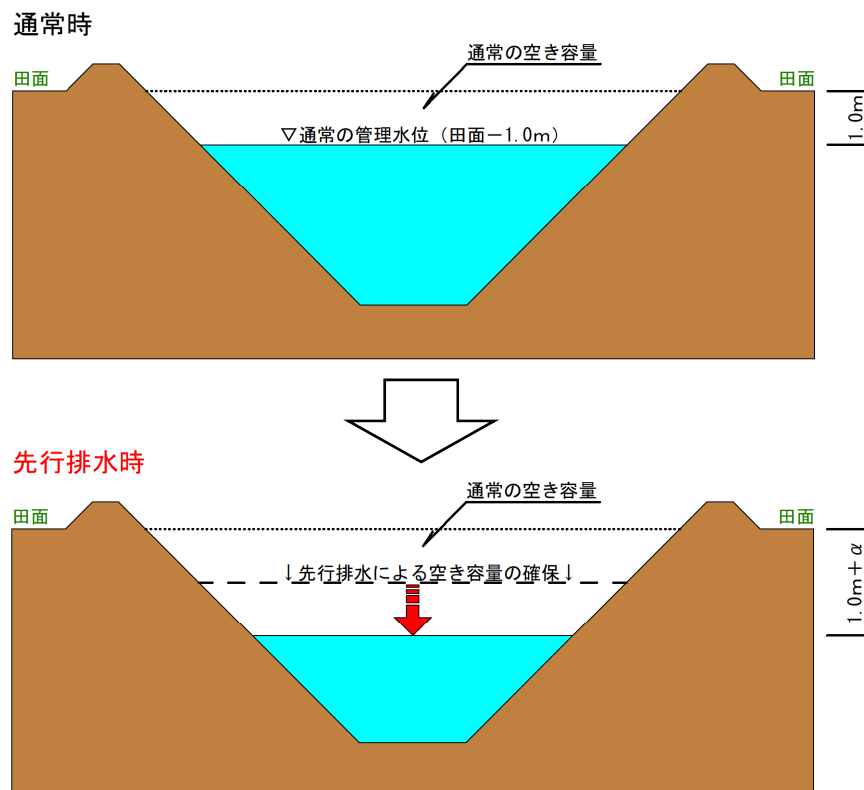
筑後川下流地域のクリークを活用した 先行排水の広域化に取り組んでいます！

筑後川下流地域のクリークは、国営及び県営事業において当初は土水路で整備されましたが、大雨・洪水時に備え、急激に水位を低下させても水路の法面が崩壊しないように、防災事業により護岸工事を行ってきました。

護岸工事が完了した今、近年の想定を超える局地的な集中豪雨に伴う被害軽減のため、筑後川下流地域に広がるクリークを活用した【先行排水】の広域化に着手しています。

①先行排水について

大雨の前に、あらかじめクリークの水位を下げて、洪水に対する貯留ポケットを確保します。



②水位の回復について

先行排水を実施後、予報通りの降雨が無かった（雨が空振った）場合の水位回復については、水路の下流に位置する地域に水が届くまで、時間を要することも想定されますので、地元の皆様のご理解・ご協力をお願いします。